

ごあいさつ

三井住友建設技術研究開発報告第 16 号の発刊にあたり、ひと言ご挨拶申し上げます。

建設業界では、技術者・技能者の減少および高齢化の進行、働き方改革による労働環境の改善と建設生産性の向上など様々な課題が顕在化しています。このような条件下であっても耐久性や耐震性等の要求性能を満足し、高品質な構造物を建設していく必要があります。すなわち、「品質確保」と「生産性向上」の双方を実現することが、持続可能な社会資本を構築するための建設業の使命と言えます。

弊社は、第 5 次中期経営計画（2016～2018 年度）において、「生産システムの改革」と「人材確保・育成、社員活力の向上」を重点的に取り組むフォーカステーマに位置付けました。技術開発においては、「土木・建築の枠を超えた『改革』、『進化』そして『挑戦』」を基本方針とし、多様な分野に取り組んできました。本年度はその最終年度であり、当初計画に基づく成果をレビューして次期以降に繋げる節目です。

本号では、「鋼材を使用しない高耐久床版」、「短繊維補強コンクリート」、「鋼とコンクリートの複合主塔」、「プレキャスト壁高欄」、「異種強度コンクリート耐震壁」などの生産性向上技術や、「トンネル工事における低周波騒音低減」、「住戸の気密性能」、「太陽光発電所の異常検知」等の環境・エネルギー関連技術など合計 12 編の論文を掲載しています。

皆様におかれましては、この技術研究開発報告をご高覧いただき、今後ともご指導・ご鞭撻賜れば幸いに存じます。よろしくお願いいたします。

2018 年 10 月

技術研究所長  
谷口 秀明